

俳人五仲庵有節伝追捕

矢羽 勝 幸

一、緒 言

俳句の歴史に正岡子規の存在は欠かせないが、大きな立場に立って観た時、子規は良いことばかりを主張したのではなかった。子規のために誤った方向に向かわざるを得なかった事象がいくつもある。「連句」もそうであるし、ゞ月並ゞと称せられた幕末・明治俳諧の扱ひもその一つであろう。

ゞ月並ゞと蔑称された幕末・明治俳人の中にも確かにゞ月並俳人ゞがいたが、またそうでない俳人もいた。その点を確かな眼で分別する必要があるだろう。本稿で扱う五仲庵有節（一八〇五―七二）は、管見によれば、非月並俳人ゞの一人で今後更に研究を深める必要がある。私はその認識のもとにかつて『俳人 五仲庵有節伝』という小著を公にしたことがあったが、資料の不足もあつて十分な成果を示すことができなかつた。

本稿は、『俳人 五仲庵有節伝』刊行以後新たに見出した資料を四期に分けて紹介、今後の有節研究の資とするものである。

ちなみに有節の本名は瀧澤与四郎、のち澤元衡と改めた。信州上田在生塚村⁽²⁾の生まれで、生家は農業を主とする大工業で一人の兄がいた。俳諧は、春秋庵系の江戸俳人中村確嶺に師事した。

二、第一期 小蓑庵執筆時代

本業であった大工業をやめて江戸本町一丁目の俳諧師中村確嶺の家(小蓑庵)に同居するのは文政十二年(一八二九)、以後小蓑庵に同居すること五年、天保五年(一八三四)ふしまつを起こし破門に近い処分を受けた。したがって第一期は、文政十二年から天保五年までの五年間である。この期は、師の旧号を名乗り椿海^{ちんかい}と号した。

この期における新事実は、天保五年(一八三四)惟草の編刊した『いほびらき』である。
かた蔭の出来てゆらつく桔梗哉 椿海

三、第二期 遊歴時代

小蓑庵を去った有節(椿海)は、江戸にいたることができず諸国を遊歴する。天保六年(一八三五)名古屋において「風堂有節」の俳号で『はまをぎ集』(処女撰集・半紙本一冊・二十五丁)を刊行、以後天保八年(一八三七)まで日本各地を巡った。この期における新事実は、『はまをぎ集』を刊行した天保六年名古屋の三輪蓼光(のちの月底)が刊行した『城南拾遺』所載の次の八句である。

休処きめてわかれて小まつ引 椿海更 有節

黄鳥やさのミ木もなき川むかひ

間くによい畑ありて山ざくら

一寸着て毎日になる裕かな

正面は葉がちになりし牡丹哉

日光うら見の瀧にて

潜り出て見かへる瀧を茅の輪哉

ミな落る音して桐のひとは哉

黙るにも次第のあるやきりぐす

四、第三期 京都時代前期

天保八年（一八三七）春か夏、有節は、京都東山に居を構えた。同年五月東山において『たねぶくろ 東山五哥仙』（半紙本一冊・十三丁）を刊行、以後嘉永六年（一八五三）まで京都市内を転々と移りつつ俳諧活動を展開する。この第三期と次の第四期は、いわば有節の俳諧人生そのもので著作に月並に顕著な活動をもっている。

第三期における新事実は多岐に渉るが、まず天保九年（一八三八）禾葉が編集・刊行した『藁笠集 員外』と朶尤が編集・刊行した『両隣集』に先ず指を屈さねばならない。

川風のわたるお上や更衣 有節（『藁笠集 員外』）

蟪蛄のなぶるや白のたまり水 有節（『両隣集』）

以下年次に従って紹介したい。

天保十一年 一八四〇 三十六歳

- (1) 芦雁集 奇淵編

長雨を一重にうけてけしの花 有節

天保十三年 一八四二 三十八歳

- (1) 夏かはず（師成田蒼虬追善集）梅通編

月花のひとつは欠しおもひかな 有節

- (2) はななづな 淡叟編

引明や花にさだまる森の形り 山城有節

天保十四年 一八四三 三十九歳

- (1) 清谷帖 江三編

まがひなき一本木也初ざくら 京有節

- (2) 狭蓑集 南枝編

江にひびく声のかへしや不如帰 京有節

この年は、師蒼虬の一周忌に相当し、同門川原悠々が追善の摺物（二枚組）を発行、有節も作品を寄せている。

同年は、他にも呂鳳編の春興一枚摺、万丈・四端編の四端立机披露の一枚摺、雲帯・清亮編の夏興一枚摺、素屋編の芭蕉百五十回忌記念一枚摺などにそれぞれ作品を寄せている。

天保十五年 一八四四 四十歳

- (1) 歳旦一枚摺 梅室編
二段組の摺物で有節の他に大阪の素屋、矢掛の一柳等三十一名の歳旦吟を収録する。
- (2) 春興一枚摺 梅笠編
三段組の摺物で有節の他、梅笠・虚白・九起・岱年・梅通・卓池・鳳朗等一七三名の作品を収録する。
- (3) 春興一枚摺 明良編
二段組の摺物で有節の他、梅笠・九起・岱年・淡節等一〇九名の作品を収録する。
- (4) 東升薙髮記念一枚摺 東升編
三段組の摺物で有節の他、九起・梅室・虚白・黙池等一二一名の作品を収録する。
- (5) 夏興一枚摺 烏谷編
四段組。有節の他、岱年・一具・卓池・得蕪等九十四名の作品を収録する。
- (6) 秋興一枚摺 大年編
二段組。有節の他、梅室・卓池・鳳朗・一具等五十七名の作品を収録する。
- (7) 谷川護物追善一枚摺 淡水編
三段組。有節の他、虚白・梅室・逸淵・碓嶺・葛古等一二二名の作品を収録する。

(8) 秋興一枚摺 養瓜編

養瓜は伊賀上野の俳人。有節とは特に親しかった。有節を含めて十二名の作品を収録する。

(9) 冬興一枚摺 養瓜編

有節の他、岱年・九起・梅室・素屋等二十一名の作品を収録する。

(10) ひとつくり 涼莎編

磯臭き中に垣してけしの花 ラッ有節

本書は佐々木宇喬の追善集。

弘化二年 一八四五 四十一歳

(1) 歳旦一枚摺 石居編

二段組。有節の他、梅室・岱年・九起・梅通・逸淵等八十二名の作品を収録する。

(2) 歳旦一枚摺 柳壺編

二段組。有節の他、梅室・岱年・素屋等九十四名の作品を収録する。

(3) 春興一枚摺 春室編

二段組。有節の他、鳳朗・多代女・梅室等四十八名の作品を収録する。

(4) 春興一枚摺 鶯呼編

模様入りの短冊枠に各句を記す。有節の他、杜鷺・九起等十九名の作品を収録する。

(5) 夏興一枚摺 梅盧編

- 二段組。有節の他、虚白・九起・梅室・梅通等六十二名の作品を収録する。
- (6) 雅琴五十齡祝賀一枚摺 雅琴編
- 二段組。有節の他、岱年・梅室・確嶺・芹舎等一三八名の作品を収録する。
- (7) 八千叟快氣祝賀一枚摺 淡叟編
- 三段組。有節の他、九起・養瓜・岱年・梅室等一四六名の作品を収録する。
- (8) 秋興一枚摺 凡来編
- 二段組。有節の他、梅室・九起・梅通等六十六名の作品を収録する。
- (9) 露測追善一枚摺 孤松編
- 二段組。露測は河内交野の俳人。有節の他、梅室・九起等二十九名の作品を収録する。
- (10) 百丈・素伯婦東送別一枚摺 太乙編
- 二段組。有節の他、九起・鼎左・見外・鳳朗・由誓等四十二名の作品を収録する。
- (11) 秋興一枚摺 北山編
- 二段組。有節の他、梅室・鼎左・素屋・逸淵等九十七名の作品を収録する。
- (12) 秋興一枚摺 梧葉編
- 二段組。有節の他、由誓・得蕪・梅室等一一九名の作品を収録する。
- (13) 秋興一枚摺 悠平編
- 二段組。有節の他、梅室・九起・素屋・乙良等八十一名の作品を収録する。
- (14) 秋興一枚摺 木山編

有節の他、由誓・素屋・悠々・一具等二十九名の作品を収録する。

(15) 秋興一枚摺 斑竹編

有節の他、四十五名の作品を収録する。

(16) 秋興一枚摺 素日編

有節の他、梅室・卓池等四十八名の作品を収録する。

(17) 夏興一枚摺 悠平編

有節の他、祭魚等二十一名の作品を収録する。

(18) 秋興一枚摺 二葉編

有節の他、一具・為山・多代女・溶々等二十一名の作品を収録する。

(19) 冬興一枚摺 一雨編

二段組。有節の他、梅室・岱年・九起等二十六名の作品を収録する。

(20) あけぼの集 雲烟社編

かざり日に野ハむらさきや秋の風 京有節

(21) 俳諧相生集 可松編

本書の序文は有節が書いているが、すでに小著『俳人 五仲庵有節』に紹介済みであるので序文以外の歌仙（一部）を掲出した。

可松還暦の一巡歌仙

輝きをかうべにうける初日かな 可松（発句）

しきりに薫る大庭の梅

桃谷(脇)

(中略)

うろく鶏のねぐらたづねる

一泉

若がへる松のきほひを花と見て

有節

富貴にふえる正月の膳

執筆

○

賀耳順

蝶鳥に足もとわかき齡ひかな

有節(発句)

すみれいろよき垣のうち外

可松(脇)

あたゝかく筏急がす水の出で

桃谷

以下三吟歌仙。

四吟

樹の裏に付て夜明るほたるかな

可松(発句)

田舟の垢のたまるさみだれ

有節(脇)

茶どころは却て古き茶を焚て

梅室

足のそろはぬからうすのおと

桃谷

以下四吟歌仙。

加茂川も上ミはまたげて花すゝき

有節(発句)

また黄昏のほめく月しろ
以下「両吟歌仙」
可松（脇）

垣ひとへ外は月夜や鳴千どり
桃谷（発句）

あすの水くむ木がらしの中
芋尤（脇）

雪車曳の峠下りれバ音もなし
有節

居酒をおもの駄菓子片店
可松

以下四吟歌仙。

弘化三年 一八四六 四十二歳

(1) 朝寄集 物成編

雨ひと日人を休める花ざかり
京有節

(2) そのにほひ 不識編

松風の下に夜明のをどり哉
有節

(3) 歳旦一枚摺 悠平編

二段組。有節の他、梅室・逸淵・卓池等八十八名の作品を収録する。

(4) 春興一枚摺 夕照編

有節の他、由誓・一具・西馬等五十一名の作品を収録する。

(5) 夏興一枚摺 一花編

三段組。有節の他、梅室・未足・一具等百九名の作品を収録する。

(6) 見外草庵移徒祝一枚摺 見外編

四段組。有節の他、梅室・九起・葛古・梅笠等二七一名の作品を収録する。

(7) 夏興一枚摺 呂鳳編

有節の他、梅室・九起・卓丈等七十五名の作品を収録する。

(8) 卓池七七日追善一枚摺 一止編

二段組。有節の他、梅室・九起・由誓等七十九名の作品を収録する。

(9) 凡来卜居祝賀一枚摺 凡来編

二段組。有節の他、梅室・岱年・九起等七十三名の作品を収録する。

弘化四年 一八四七 四十三歳

(1) 麦がら笛 菱池編

愛想に雪花ちりて春の月 有節

(2) 夏興一枚摺 希康編

名残として薬もかくさぬ牡丹かな 有節

他に岱年・梅室等十一名の作品を収録する。

(3) 歳旦一枚摺 梧葉編

二段組。有節の他、梅室・芹舎・九起等五十一名の作品を収録する。

- (4) 春興一枚摺 好静編
 三段組。有節の他、梅室・岱年・九起・逸淵等二百三名の作品を収録する。
- (5) 歳旦一枚摺 素山編
 二段組。有節の他、梅室・九起・梅通・鼎左等一三二名の作品を収録する。
- (6) 夏興一枚摺 鶯居編
 有節の他、梅室・岱年・鼎左・逸淵等二十五名の作品を収録する。
- (7) 春興一枚摺 藤涯編
 有節の他、梅室・林曹等八名の作品を収録する。
- (8) 古谷還曆祝賀一枚摺 北梅編
 三段組。巻頭の一巡歌仙に有節が参加。祝儀の発句にも一句を寄せる。発句は有節の他、而后・為山等一四九名の作品を収録する。
- (9) 春興一枚摺 古鳳編
 二段組。有節の他、梅室・虚白・素屋・九起等九十一名の作品を収録する。
- (10) 春興一枚摺 花仏編
 二段組。有節の他、六十一名の作品を収録する。
- (11) 卓池句碑建立記念一枚摺 逸秋編
 三段組。有節の他、梅通・梅室・逸淵・月底等一五七名の作品を収録する。
- (12) 呂川送別記念一枚摺 松什編

三段組。有節の他、梅室・淡節・抱儀・多代女等一二三名の作品を収録する。

(13) 秋興一枚摺 萬里編

二段組。有節の他、梅室・淡節・逸淵等一三九名の作品を収録する。

(14) 秋興一枚摺 其儘編

二段組。有節の他、梅室・月底・多代女等一一四名の作品を収録する。

(15) 歳旦一枚摺 井左編

有節の他、鳥吟・素屋等二十三名の作品を収録する。

(16) 歳旦一枚摺 太乙編

有節の他、梅室・岱年・林曹・九起等二十六名の作品を収録する。

嘉永元年 一八四八 四十四歳

(1) 松洞薙髮祝賀一枚摺 宗古編

三段組。有節の他、梅室・梅通・岱年等二二二名の作品を収録する。

(2) 秋興一枚摺 鶯呼編

二段組。有節の他、梅室・虚白・梅笠・逸淵等一六三名の作品を収録する。

(3) 鳳朗大祥忌記念一枚摺 竹烟編

三段組。有節の他、四山子・梅室・逸淵等百四名の作品を収録する。

(4) 春興一枚摺 鶯居編

- 有節の他、梅室・芹舎・逸淵・竹烟等四十二名の作品を収録する。
- (5) 遅流古稀記念一枚摺 遅流編
 三段組。有節の他、林曹・蟻兄・墨芳等二一八名の作品を収録する。
- (6) 春興一枚摺 羅紅女編
 二段組。有節の他、梅室・多代女・逸淵等五十名の作品を収録する。
 歳旦一枚摺 みもと編
- (7) 三段組。有節の他、梅室・梅通・梅笠・未足等一五九名の作品を収録する。
- (8) 三巴園花溪初老祝賀一枚摺 花溪編
 二段組。有節の他、杜鷺・墨芳・大夢等四十五名の作品を収録する。
- (9) 更水浪花送別一枚摺 梅室編
 三段組。有節の他、由誓・逸淵・西馬等一八〇名の作品を収録する。
- (10) 秋興一枚摺 里作編
 三段組。有節の他、梅室・岱年・一具・九起等七十名の作品を収録する。
- (11) 春興一枚摺 西疇編
 二段組。有節の他、梅室・虚白・黙池・逸淵等百名の作品を収録する。
- (12) 鼎左結庵祝賀一枚摺 鼎左編
 二段組。有節の他、杜鷺・曲淵・九起・由誓等一六〇名の作品を収録する。
- (13) 秋興一枚摺 巴陵編

二段組。有節の他、抱儀・為山・西馬・見外等六十六名の作品を収録する。

(14) 秋興一枚摺 波同編

三段組。有節の他、岱年・素屋・梅通・鼎左・梅室等一五二名の作品を収録する。

(15) 秋興一枚摺 馬兄編

三段組。有節の他、梅室・琴堂・逸淵・弘湖・梅笠等一四一名の作品を収録する。

(16) 半百賀 雅琴編

菊屋平兵衛板。九起序文。有節が跋文を執筆するよしだが未見。

嘉永二年 一八四九 四十五歳

(1) 歳旦一枚摺 呂川編

二段組。有節の他、芹舎・曲淵・為山・梅笠等二〇三名の作品を収録する。

(2) 歳旦一枚摺 英泉編

三段組。有節の他、梅室・岱年・九起・梅通等一五九名の作品を収録する。

(3) 吉野山曳杖記念一枚摺 夷逸編

二段組。有節の他、見外・荳丸・西馬・為山等一一四名の作品を収録する。

(4) 歳旦一枚摺 鶯居編

有節の他、逸淵等二十四名の作品を収録する。

(5) 春興一枚摺 伯遠編

- 二段組。有節の他、梅室・岱年・逸淵・黙池等一二二名の作品を収録する。
- (6) 桜桃庵湧瀧還暦の賀一枚摺 湧瀧編
- 二段組。有節の他、岱年・杜蓼・抱儀・多代女等百六名の作品を収録する。
- (7) 餘力老人一周忌追善一枚摺 得蕪編
- 三段組。有節の他、梅室・九起・逸淵・蓬宇等一七六名の作品を収録する。
- (8) 夏興一枚摺 荳丸編
- 二段組。有節の他、由誓・為山・弘湖・葛古等八十五名の作品を収録する。
- (9) 萬像陸奥行脚記念一枚摺 西馬編
- 二段組。有節の他、四山子・曲淵・逸淵・抱儀等七十四名の作品を収録する。
- (10) 秋興一枚摺 舍用編
- 三段組。有節の他、逸淵・梅室・由誓・未足等一七二名の作品を収録する。
- (11) 秋興一枚摺 羽長編
- 三段組。有節の他、梅室・芹舎・杜蓼・逸淵等七十二名の作品を収録する。
- (12) 秋興一枚摺 得蕪編
- 三段組。有節の他、梅室・岱年・銀岱・逸淵等一七七名の作品を収録する。
- (13) 霞潮居士追善一枚摺 梅巖編
- 二段組。有節の他、九起・淡節・岱年・芹舎等三十四名の作品を収録する。
- (14) 水哉若狹留別記念一枚摺 水哉編

有節の他、梅室・杜鶯・素屋・鼎左・桃五等三十六名の作品を収録する。

(15) 秋興一枚摺 左一編

三段組。有節の他、梅室・芹舎・梅通・逸淵等百八名の作品を収録する。

(16) 今人名家類題集 祖郷編

扇ほど笹をりかざす花見かな 有節

人呼で扇もどすや花の中 、

あら磯もある夜は越て猫の恋 、

田も人もふえて小里や夏神楽 、

飛先に野明り引て鳴鶉 、

(17) 嵐山集 石外編

元旦や竹に等しき人ごゝろ 有節

(18) きくすいしう 思篤・東泉編

朧気のけさハはなれし桐の花 京有節

(19) わらべなり 沢洲編

春風や松にかぎらぬ野のみどり 京有節

嘉永三年 一八五〇 四十六歳

(1) 氷室集 潮堂編

木や竹の色にまかせて更衣 洛陽 有節

(2) むらお花文台 折桂編

日の落て松風もどる霞かな 有節

(3) 京魚初老賀一枚摺 京魚編

二段組。有節の他、梅室・黄山・多代女。萱丸等八十一名の作品を収録する。

(4) 喜久里還曆祝一枚摺 喜久里編

有節の他、梅室・一具・岱年・可大・素屋・林曹等三十三名の作品を収録する。

(5) 春興一枚摺 呼亭編

二段組。有節の他、梅室・九起・岱年・多代女等一二七名の作品を収録する。

(6) 歳旦一枚摺 夷岳編

有節の他、梅室・岱年・九起・芹舎・梅通等三十四名の作品を収録する。

(7) 春興一枚摺 雪琴編

二段組。有節の他、梅室・梅通・芹舎・九起等二六名の作品を収録する。

(8) 春興一枚摺 山海編

三段組。有節の他、梅通・九起・岱年・萱丸等一九六名の作品を収録する。

(9) 夏興一枚摺 得蕪編

三段組。有節の他、岱年・九起・逸淵・素屋等一八九名の作品を収録する。

(10) 扇和二生の後披露一枚摺 未足編

- 三段組。有節の他、梅通・岱年・鼎左・立字等二三三名の作品を収録する。
- (11) 夏興一枚摺 市猿編
- 三段組。有節の他、淡節・曲淵・九起・梅通等一五二名の作品を収録する。
- (12) 夏興一枚摺 篤之編
- 二段組。有節の他、九起・悠々・卓郎・梅通等七十六名の作品を収録する。
- (13) 秋興一枚摺 茶雷編
- 三段組。有節の他、芹舎・九起・逸淵・葛古等百九名の作品を収録する。
- (14) 秋興一枚摺 舎用編
- 二段組。有節の他、梅通・素屋・岱年・九起等九十三名の作品を収録する。
- (15) 秋興一枚摺 山子編
- 三段組。有節の他、九起・梅通・立器・逸淵等一八一名の作品を収録する。
- (16) 秋興一枚摺 梢山編
- 三段組。有節の他、九起・芹舎・梅通・蟻兄等二六五名の作品を収録する。
- (17) 佳拳園等栽新居祝一枚摺 等栽編
- 三段組。有節の他、梅室・淡節・葛古・未足等二五九名の作品を収録する。
- 嘉永四年 一八五二 四十七歳
- (1) 此花集 完甫編

ひと声にみちる陽気やはつ鳥 有節

(2) 三幅対 雪窓編

人だかりするや月夜の門清水 京 有節

(3) ことふり集 如雲編

浪こさぬまでの垣根や月と梅 有節

(4) 臯月晴 潮堂編

五月雨の晴間なつかしく独窓前にむかひ居し折りから阿叟の黄泉へおもむかれしよし東都無為庵より告越されけるに打
驚れ只合掌して東の空を拝するのミ

きゆるともせめてはかへせ夏の雲 洛 有節

〔阿叟〕は第一の師小菘庵確嶺を指す

(5) 東桜集 遜阿編

柚の花や今樹に見しを膳の上 山城 有節

(6) 春興一枚摺 布国編

三段組。有節の他、九起・芹舎・梅通・由誓・為山・一具等五十六名の作品を収録する。

(7) 春興一枚摺 雲涯編

二段組。有節の他、九起・鼎左・未足・逸淵等一一五名の作品を収録する。

(8) 春興一枚摺 ちから編

二段組。有節の他、悠々・九起・琴堂等七十一名の作品を収録する。

(9) 秋興一枚摺 思風編

二段組。有節の他、梅室・九起・芹舎・梅通等八十四名の作品を収録する。

(10) 秋興一枚摺 亀年編

有節の他、芹舎・梅通・逸淵・寄三・多代女等七十七名の作品を収録する。

(11) 秋興一枚摺 ちから編

有節の他、一具・多代女・為山・岱年・氷壺等二十九名の作品を収録する。

(12) 泉花女追善一枚摺 古棠編

三段組。有節の他、梅室・九起・芹舎・抱儀・一具等一一六名の作品を収録する。

(13) 田川鳳朗七回忌追善摺物 鶯居編

三枚あり。その最初の一枚に出句。二段組。有節の他、梅室・九起・芹舎・岱年等七十九名の作品を収録する。

(14) 秋興一枚摺 怡々編

二段組。有節の他、梅室・梅通・九起等八十五名の作品を収録する。

嘉永五年 一八五二 四十八歳

(1) 当時名家此華集 半舎編

門出れば左右に成りぬ月とうめ 京有節

(2) をぐるま集 故厓編

行のミで戻る鳥なし雲の峰 京有節

- (3) 歳旦一枚摺 春松編
 三段組。有節の他、勇魚・芹舎・梅通・九起等八十九名の作品を収録する。
- (4) 歳旦一枚摺 故厓編
 二段組。有節の他、岱年・九起・葛古・琴堂等一五八名の作品を収録する。
- (5) 春興一枚摺 和泉編
 有節の他、月波・由誓・素屋・逸淵・祖郷・一具等五十二名の作品を収録する。
- (6) 春興一枚摺 普陽編
 三段組。有節の他、梅通・芹舎・九起・苜丸等二百名の作品を収録する。
- (7) 夫雪送別の一枚摺 夫雪編
 二段組。有節の他、梅通・文海・逸淵・梅笠等六十名の作品を収録する。
- (8) 挙一送別の一枚摺 挙一編
 三段組。有節の他、芹舎・素屋・丁知・得蕪等一五二名の作品を収録する。
- (9) 夏興一枚摺 撫泉編
 二段組。有節の他、一具・逸淵・由誓・鳥吟等一〇二名の作品を収録する。
- (10) 夏興一枚摺 岸讓編
 二段組。有節の他、梅通・芹舎・文海・一具等六十七名の作品を収録する。
- (11) 歳旦一枚摺 為山編
 有節の他、岱年・月底・鳥吟・白斎・素屋等八十名の作品を収録する。

- (12) 歳旦一枚摺 撫泉編
有節の他、芹舎・梅通・南々・多代女・西馬等四十九名の作品を収録する。
- (13) 春興一枚摺 月岡編
有節の他、九起・素屋・鳥吟・多代・為山等三十六名の作品を収録する。
- (14) 春興一枚摺 宇均編
有節の他、岱年・芹舎・西馬・見外・為山等三十九名の作品を収録する。
- (15) 歳旦一枚摺 夷岳編
有節の他、芹舎・為山・西馬・逸淵・素屋等十四名の作品を収録する。
- (16) 梅月父祖追善一枚摺 梅月編
有節の他、梅室・芹舎・見外・逸淵・抱儀等三十四名の作品を収録する。
- (17) 楽水居士追善一枚摺 一峰編
二段組。有節の他、九起・梅通・琴堂・葛古等一五四名の作品を収録する。
- (18) 秋興一枚摺 冬守編
三段組。有節の他、芹舎・梅通・逸淵・苜丸・漣々等一六六名の作品を収録する。
- (19) 冬興一枚摺 呉城編
有節の他、公成・為山・抱儀・素屋・一之・淡節等五十九名の作品を収録する。
- (20) 梅室追善の一枚摺 素交編
三段組。有節の他、淡節・黙池・梅通・立器・一之・梅塵等一九八名の作品を収録する。

刊行推定（天保八年—嘉永五年）

四季
発句類題花筏集 鷺秋編

初鷄やまた菌朶提し人通り 有節

唯おくもをしき地面や月と梅

いつ越して瀧より上や鳴水鶏

うき上て□□き苔や霜ばしら

おろし来て沢の日をおふ小鴨哉

五、第四期 京都時代後期

第四期は、ライバルであった桜井梅室没（嘉永五年没）後の嘉永六年（一八五三）から他界する明治五年（一八七二）までの十九年間をいう。この期はいわば有節の全盛期というべきで、出版を含め俳諧活動すべてに充実していた。

嘉永六年 一八五三 四十九歳

(1) 句仙 楞影編

本書は嘉永当時の著名俳人画像集である。有節の肖像は従来知られているものがない。ここに紹介する。



雪ながら山ハ優美のはつ日哉 五仲庵有節
画者は、年木庵松巢。

(2) かれぎく集 辰丸編

本書は桜井梅室の追善集であるが、嘉永五年十二月一日京都東山双林寺で行われた追悼一巡百韻に次の付句を付けている。

いらぬ間数にくばるともし火 竹坡

寒いのを堪るうちに花ざかり 有節

次は追悼句

- 人も樹も時来てかる、あらし哉 有節
- (3) なかの九日 三鬼編
杓踏で鶯なくや門清水 京有節
- (4) 微雨集 清水編
杓踏で鶯啼くや門シミづ 有節
- (5) 龍が岡 蛎山編
御降や鴨の眠りもさめぬほど 京有節
- (6) 四山孤円斎改号祝賀一枚摺 四山編
二段組。有節の他、芹舎・梅通・逸淵・梅笠等七十一名の作品を収録する。
- (7) 春興一枚摺 大年編
二段組。有節の他、梅通・芹舎・多代女・抱儀等一一七名の作品を収録する。
- (8) 布丈還暦祝賀一枚摺 布丈編
三段組。有節の他、逸淵・苜丸・未足・宣頂等二〇七名の作品を収録する。
- (9) 歳旦一枚摺 尋香編
三段組。有節の他、芹舎・淡節・逸淵・葛古等二〇五名の作品を収録する。
- (10) 歳旦一枚摺 呉城編
有節の他、芹舎・素屋・舎用・一止・逸淵・潮堂等四十三名の作品を収録する。
- (11) 嘯月還暦祝一枚摺 鼎跡編

二段組。有節の他、芹舎・文海・鼎左・素屋等九十名の作品を収録する。

(12) 夏興一枚摺 松隣編

三段組。有節の他、一具・為山・西馬・公成等一三七名の作品を収録する。

(13) いミ夫改号祝一枚摺

四段組。有節の他、梅通・芹舎・公成・五渡・ノ左等二四〇名の作品を収録する。

(14) 冬興一枚摺 閑那編

三段組。有節の他、公成・芹舎・由誓・菖丸・漣々等一九二名の作品を収録する。

(15) 歳旦一枚摺 一瓢編

有節の他、多代女・素屋・御風・見外・素交等二十名の作品を収録する。

安政元年 一八五四 五十歳

(1) こひのたより 万古編

本書は連句の恋句の秀逸作を集めているが、有節作品も収められている。

頬当もはさまぬまでの仮まくら 有節

早に音のたへぬ懸戸樋

○

こける襖に忍びかねたり 有節

医突合すれど葉ハもたぬ也

(2) 夕ばえ 梅通編

本書は第二の師蒼虬の追善集であるが、嘉永七年三月八日、京都双林寺中文阿弥亭で興行した蒼虬追善協起俳諧（一巡）の名残の花を有節が付けている。

小寒きはさすがに花のさかりかな 蒼虬

巢立鴉の呼かハす声 梅通

（以下一巡中略）

過るほど花の薫のしたハしく 有節

惣くあふぐ塔の陽炎 執筆

手向詠の中に

おもかげも花になつかし杖のあと 有節

(3) 歳旦一枚摺 青池編

有節の他、丁知・逸淵・西馬・見外・公成・芹舎・文海等五十四名の作品を収録する。

(4) 春興一枚摺 鼎左編

有節の他、素屋・為山等十六名の作品を収録する。

(5) 春興一枚摺 如禪編

有節の他、梅通・芹舎・文海・素屋等二十三名の作品を収録する。

(6) 歳旦一枚摺 柳花編

有節の他、梅通・公成・月坡・鼎左・鳥岳・文海等二十一名の作品を収録する。

(7) 一具追善一枚摺 由誓編

有節の他、公成・梅通・芹舎・抱儀・逸淵・卓郎等五十七名の作品を収録する。

(8) 菊丸古稀祝一枚摺 亀成編

有節の他、公成・多代女・由誓・逸淵・舍用等九十七名の作品を収録する。

安政二年 一八五五 五十一歳

(1) 青あらし 宣和編

行灯の見こしに明てなつの月 有節

(2) 類題発句小雨集 艾園編

御降やかもの眠りもさめぬほど 有節

雪花の肩吹こゆるとんどかな 、

めでらるゝいろも一日のすゝな哉 、

初午や松も声よむ人の跡 、

何処やらになじミ有野の董哉 、

草の香の中に月夜の団かな 、

あたら夜を野に只置て火取虫 、

(3) 歳旦一枚摺 芳草編

三段組。有節の他、由誓・為山・卓郎・梅笠等二二八名の作品を収録する。

(4) 歳旦一枚摺 太素編

二段組。有節の他、公成・芹舎・梅笠・逸淵・ミキ雄等百五名の作品を収録する。

(5) 秋興一枚摺 秋峨編

有節の他、由誓・抱儀・見外・多代女・逸淵等二二名の作品を収録する。

(6) 如雲四十九日一枚摺 舍用編

二段組。有節の他、西馬・抱儀・逸淵・梅通等一一九名の作品を収録する。

安政三年 一八五六 五十二歳

(1) なごり月 米女ら編

本書は太乙の大祥忌追善集であるが有節も左の一句を載せる。

こがらしのかくとハしらず人の上 有節

(2) 曲阜二条家俳諧祝儀の摺物 曲阜編

二条御殿月の御会に官服免許を蒙りて

いたゞきて其かげ広し月の松 曲阜

官服の御ゆるしをうけて故園に帰らるゝ照顔齋主に対して

雲のうへおりて踏野の錦かな 有節

(3) 歳旦一枚摺 芝船編

有節の他、梅通・芹舎・素屋・為山・多代等十九名の作品を収録する。

(4) 歳旦一枚摺 金英編

有節の他、公成・鼎左・為山・西馬・素屋等二十一名の作品を収録する。

(5) 春興一枚摺 素暁編

有節の他、梅通・公成・芹舎・蟻兄・逸淵・由誓等三十三名の作品を収録する。

(6) 秋興一枚摺 徳斎編

有節の他、梅裡・西馬・抱儀・ミキ雄・為山・鳥吟等六十七名の作品を収録する。

安政四年 一八五七 五十三歳

(1) 雪竿集 鳳洲編

菜の花や川もはるかの千鳥かけ 京有節

(2) 歳旦一枚摺 俵山編

二段組。有節の他、梅通・公成・芹舎・鳥吟・為山等八十六名の作品を収録する。

(3) 秋興一枚摺 鳥岳編

有節の他、文海・見外・素屋・淡節・祖郷・梅裡等三十五名の作品を収録する。

(4) 夏興一枚摺 珉子編

有節の他、鳥岳・文海・多代女・為山・大夢等三十三名の作品を収録する。

(5) 応可の父其道十回忌一枚摺 応可編

三段組。有節の他、芹舎・逸淵・由誓・弘湖等一九〇名の作品を収録する。

安政五年 一八五八 五十四歳

(1) 竹苑集 貞齋編

伸過てはなる、つるやことし竹 有節

(2) をぐるま 月之編

雪花も祝ひに似たり松の内 山城 有節

(3) 春興一枚摺 有節編

誉た日の腰折れしたる餘寒かな 有節

他に嵐牛・砂山・応可・宇雀・鶯橋・風柯・潮月・九峰の発句を収録する。

(4) 成田蒼虬十七回忌追善一枚摺 祖郷編

三段組。有節の他、梅通・芹舎・梅笠・潮堂・弘湖・鶯室・菅磨・素水・墨芳・松頂・淡節等二三四名の作品を収録する。

(5) 鳥吟追善一枚摺 山子編

四段組。有節の他、公成・黙池・芹舎・逸淵・漣々・舎用・不染・可大・大夢・波同・為山等二四五名の作品を収録する。

安政六年 一八五九 五十五歳

(1) 類題新花筏集 鶯宿・眉山編

朝の気のさして暮けり松の内 有節

振舞の先も旅寝や小正月

春風や松にかぎらぬ野はミどり

有明のうつくし過る寒かな

杖むけてかたかふ道の木のはかな

山茶花や日を背に負ふて立咄し

あとへのミカヅりのきくや鳴く千鳥

しはぶいて犬さえよせず網代守

(2) あさゆふべ 留木編

福芝斎追悼

むさし野もたゞまぼろしや秋のこゑ 有節

「福芝斎」は得蕪の別号である。

万延元年 一八六〇 五十六歳

(1) くれなる集 蔦雨編

叙

日枝のふもと坂本の里はむかし蕉翁の松ハ花よりおぼろにてと賞談ありし唐崎につらなれるすくせにや三津川于当叟はふかく俳道を好めるのあまりちかきあたりの人々をミちびかれツ、常に三井寺の門叩かばやと風興ありし清光を仰ぎ猶堅田におちて旅寝する病鴈の哀に観想のこゝろを得ていよゝ練磨し、世にひろく知らるゝ正風の信者なりしが天寿かぎりありて黄泉に趣れしもはや三十餘り三めぐりに成りぬれば今のあるじ蔦雨すみやかに遠忌追善の筵をまうけ、かねて親しき雅客をまねきて蓮の花の遺吟に脇をおこし、おのゝ一韻を継て夫にとしごろ聞えし海内の名士達の詞草の句はしきを

さへとりそひなき靈を慰められしハ彼の八軸妙音にも増りてこよなき供養成るべし。かくてそがくさくを無下に紙魚のすミかになさんやはととみ二梓にのほせて打つけに「くれなる集」と號て同志の風家に贈るとぞ。はた雨子も一たびハ都に庵をむすびて推敲せしニさりがたき事のありてしばらく望をうしなはれしが既に齡も半百にみちければ男木雞二世をゆだねてますく風雅にあそばんとす。されバ四方より此鳩の湖に吹入れる花の便のしげくしくあらまほしげなるを押はかりて法席の燈下に漣のよるべたどくしき萍のねなしごとをしるす。

萬延元庚申之初夏

五仲有節(花押)

卷頭の于当追善脇起一巡歌仙

くれなるに咲も浮世のはちすかな 于当居士(発句)

西日に風のかをる敷砂 木雞(脇)

宰領をイながら呼継て 蔦雨(第三)

(下略)

あかねながらにはこび出す雲 白長

散てのちいまも名に立滋賀の花 有節(名残りの花)

坐に並び居る膝のうらゝか 桃乙(挙句)

○

嵐山にさまよひて三軒茶屋にやどを求む

見つかれし花にくつろぐ心かな 蔦雨

苔葉ばかりを宿のもてなし 有節

(以下半歌仙略)

初声にかへて賑ハし帰る雁 有節

(2) 歳旦一枚摺 撫泉編

有節の他、為山・見外・卓郎・梅通・公成・等裁等六十二名の作品を収録する。

(3) 一拳園一周忌追善一枚摺 茶雷編

有節の他、多代女・為山・公成・尋香・素屋等五十名の作品を収録する。

文久元年 一八六一 五十七歳

(1) 春興一枚摺 草友編

有節の他、梅通・抱儀・尋香・素屋・多代女等七十五名の作品を収録する。

(2) 秋興一枚摺 花嬌編

有節の他、ミキ雄・公成・九起・波同・而后等六十三名の作品を収録する。

文久二年 一八六二 五十八歳

(1) おきなが鳥 欣月編

ほめく日に後せかる、萩見哉 有節

(2) おなじ花 信兆編

口にする脊をすれくや桐一葉 有節

文久三年 一八六三 五十九歳

(1) 狗兒集 五休編

はつ耳に鶯うれし庵の朝 有節

(2) 玉鱗集 四勿等編

寄生木の時得ぶり也はつざくら 有節

元治元年 一八六四 六十歳

(1) 家つと集 井月編

嶋もなき空に一ツの雲雀かな 有節

(2) 松柏集 素山・唸風編

俳聖堂老人は官務のいとま古池の源流を逆のぼりて今年健やかに古稀の齡を重ねられ給ふを祝して贈る

是からも永きミどりぞ七わか菜 有節

(3) 春興一枚摺 一志編

有節の他、梅通・文海・淡節・為山・未足・吟風等四十七名の作品を収録する。

(4) 歳旦一枚摺 一叶編

有節の他、鳥岳・等栽・氷壺・春湖・唸風・苜磨等六十一名の作品を収録する。

慶応元年 一八六五 六十一歳

- (1) 名家自筆万春楽 榎暁編

巻頭に有節の座像(略画)と左の一句を自筆で記す。

対東山

日頃見しミねぞなつかしけふの月 五仲有節(花押)

- (2) 春興一枚摺 玉英編

有節の他、公成・芹舎・文海・鳥岳・自長・波同等三十七名の作品を収録する。

慶応二年 一八六六 六十二歳

- (1) 歳旦一枚摺 寄三編

有節の他、公成・為山・等栽・清民・酒雄・素屋等六十五名の作品を収録する。

- (2) 歳旦一枚摺 露淇編

有節の他、芹舎・文海・梅裡・蟻道・黙池・土前等六十名の作品を収録する。

- (3) 春興一枚摺 右朗編

有節の他、公成・素屋・為山・等栽・酒雄・寄三等六十四名の作品を収録する。

- (4) 夏興一枚摺 可慎編

有節の他、梅通・公成・鼎左・逸淵・見外・鳥吟等五十三名の作品を収録する。

- (5) 道しるべ集 也足編

初花やわけ入過て跡もどり 京有節

慶応三年 一八六七 六十三歳

(1) 春湖初老祝一枚摺 春湖編

有節の他、公成・文海・九起・ミキ雄・未足等二十名の作品を収録する。

(2) 歳旦一枚摺 露山編

有節の他、芹舎・九起・公成・一止・為山・琴堂等九十九名の作品を収録する。

(3) 俳家新聞 乙彦編

何なりと花あるさとの小春哉 京有節

(4) 伯州大山御本社広前奉額の撰者をつとむ。撰者は有節の他に鼎左・文海・一眠・塵外の四名。

月花はともあれ雪の伯耆不二 有節

明治元年 一八六八 六十四歳

(1) 歳旦一枚摺 石丈編

有節の他、文海・黙池・弘湖・為山・見外・ミキ雄等四十五名の作品を収録する。

明治二年 一六八九 六十五歳

(1) 長野市西長野諏訪神社俳額

鳩の鳴果は知れけり野の霞 有節

六、年次不詳

(1) 雞肋集 大古編

里くを声の表やはつ鳥

有節

(2) 花の賀集 江波編

とかくして木隠れ易し閑古鳥

有節

(3) 俳諧慶応六百題 碓嶺編

初鷄やまた齒朶堤し人通

有節

舞蝶に後先のなき寒哉

、

門出れば左右になりぬ月と梅

、

けしの花麦に紛れてゆれにけり

、

江にひゞく声のかへしや子規

、

野ばかりも見らるゝ空を時鳥

、

秋立や植ぬ草木をまくら元

、

箸とりし我をそこらに盆の月

、

雲やけの残りて峰の初時雨

、

有明のうつくし過るさぶさ哉

、

庵の葎風吹程に枯にけり

おろし来て沢の日を追ふ小鴨哉

(4) 禾葉居士追善集 氷壺編

野明りにはなす端居やなく蛙

山城 有節

(5) 日和虹 知風編

黄鳥のなまり恥てや啼かへし 有節

七、同名異人

すでに紹介した『なかの九日』（嘉永六年刊・三鬼編）に「ヒタチ（常陸）」の人として左の一句が収められている。

つく息の眼鏡にくもる寒さ哉

ヒタチ 有節

本稿をまとめるにあたり、大西紀夫・加藤定彦・岸本悠子・小林孔・田坂英俊の諸氏のお世話にあずかった。記して深謝する。

註

(1) 矢羽勝幸『俳人 五仲庵有節』（二〇一七年九月 プイツーソリユウシヨン刊）。

(2) 現長野県上田市常盤城四―九六。